

「やまなしの教育振興プラン」目標となる指標の達成状況

担当課	指標の概要	H19年度の 現況値	H25年度の 目標値	H25年度の 実績値	達成率 %	今後の取組
健やかな体の育成						
29	<p>【運動・スポーツの実施状況】</p> <p>スポーツ健康課 ・「山梨県新体力テスト・健康実態調査」で授業以外で週3日以上運動・スポーツを実施している小学生（5・6年生）の割合</p>	小 48.2 %	小 65 %	小 46.6 %	-9.5	<p>子供たちが運動の習慣を身につけるためには、小学校期の遊びや運動の経験の積み重ねが必要であることから、新たな調査結果の分析をもとに、引き続き体育科の授業や健康体力づくり一校一実践運動の中で、様々な遊びや運動の経験を増やし、運動する意欲を高めていく。</p> <p>健康体力づくり一校一実践運動において、運動習慣の定着に向けた目標設定を行い、運動時間を増やししながら、習慣化を図っていく。</p> <p>「レクで学校丸ごと元気アップ事業」を通じて、子供の体力の現状と生活習慣、様々な動きを伴う遊びの経験など、子供たちの望ましい生活経験の必要性を保護者や地域の協力者と共通理解を図っていく。また、学校だけでなく、家庭、地域が一体となって、体力向上を目指す継続的な取組を検討し、実施に向けて取り組んで行く。</p>
30	<p>【体力・運動能力の状況】</p> <p>スポーツ健康課 ・「山梨県新体力テスト・健康実態調査」で小学生（5年生）のボール投げの平均値のピーク時（昭和56年）の値に対する割合</p>	小 81.7 %	小 90 %	小 75.9 %	-69.9	<p>ボール投げは、複数の動きを伴う運動であるため、様々な動きの経験を通して、身のこなしや体の器用さを身に付けていくことが必要である。また目標値には達しなかったものの、全体的な体力数値は改善傾向にあることから、今後も「健康体力づくり一校一実践運動」の一層の充実、「レクで学校丸ごと元気アップ事業」の取組などを通じて、引き続き運動時間を増やすとともに、様々な動きを伴う遊びや運動を経験させることに重点を置いた取り組みを推進していく。</p>
31	<p>【薬物乱用防止への取組状況】</p> <p>スポーツ健康課 ・薬物乱用防止教室を実施している学校の割合</p>	中 29.2 %	中 60 %	中 51.7 %	73.1	<p>保健主事に対する研修等の内容に、自校での開催の参考となるような、またLHRの時間を活用して扱えるような手軽な実践報告を加えて行くことにより、各校の開催を促していく。</p>
32		高 87.5 %	高 100 %	高 87.1 %	-3.2	<p>県保健福祉部と連携し、地域の薬物乱用防止指導員も含めた研修会を開催し、外部指導者との連携を図っていく。また、研修内容は、「教室」開催の必要性を理解させる内容を加えていく。</p> <p>実施した「教室」の内容を講義だけで終わらせず、生徒が自らの問題としてとらえ、解決のために話し合いや呼びかけ合いを行うような自発的活動を「教室」終了後に展開できるような内容にするための指導内容を研修会に盛り込んでいく。</p>
33	<p>【朝食の摂取状況】</p> <p>スポーツ健康課 ・「山梨県新体力テスト・健康実態調査」で児童生徒が朝食を摂取している割合</p>	小 91 %	小 95 %	小 92.4 %	35.0	<p>小学校中学年以上では自分で食事を摂ることは可能であるため、児童生徒が自分で朝食が摂れるよう、簡単な食品を冷蔵庫等に常備してもらおうよう保護者に対して直接働きかけていく。</p>
34		中 84 %	中 90 %	中 86.9 %	48.3	<p>県福祉保健部や県企画県民部と連携して、保護者（成人）の朝食摂取に対する認識改善に向けた普及啓発活動に取り組んで行く。</p>
35		高 78.3 %	高 90 %	高 84.7 %	54.7	<p>各校の食育担当者に効果的な取組や先進的な実践例を紹介していくなど情報提供を行うことにより、各校の効果的な取組を促し、引き続き健康3原則の徹底を図っていく。</p>
36	<p>【食育の推進状況】</p> <p>スポーツ健康課 ・食に関する指導全体計画を作成している学校の割合</p>	小 64.2 %		小 100 %	100.0	<p>未作成校に対して、作成の一助となるような具体的な関係資料を提示し、計画の作成を促していく。</p>
37		中 53.8 %	100 %	中 100 %	100.0	<p>食育については、学習指導要領にも定められていることから、年間指導計画表の必要性を理解してもらえよう、高等学校校長会等において各校の管理職への働きかけを行っていく。</p>
38		高 10.2 %		高 68.2 %	64.6	<p>毎年度の指導計画の作成状況調査の他に、校内分掌確認の調査を実施していくことで、各校の担当者の意識付けを行う。</p> <p>引き続き食に関する指導全体計画の作成を促進していくことで、義務教育で培われた食育の知識を再度学習させることにより知識の定着を図っていく。</p>